

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 生 業	(ふりがな) なりわい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	炭焼き ②		
伝承地域	飯舘村大倉 (村一円)		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 木炭には炭質により「白炭」と「黒炭」がある。「白炭」は 1,300 度の高温で焼き真っ赤な炭を取り出し「す灰」をかけて火を消し、「黒炭」は 400～700 度で焼き火が消えてから取り出す。大倉地区では炭質の固い白炭が主であった。		
内容	新しく窯を作る時は、山の斜面の一角を切り取る。これを「掘っ込み」という。これで、土質や地盤の具合を見る。良ければ、窯の大きさを決める。石窯の場合、普通四、五の窯とって、底が縦五尺、横四尺のもの。この窯で、炭が 20 貫焼ける。粘土が強すぎる時は、途中でひびが入るから、砂を混ぜたりする。「掘っ込み」が終わったところで、窯底を作る。平らな石を並べて、円形に平面に、尻窯の方は少し高くする。この底が、地下水の浸みしてくるところは、松や栗の丸太を底に並べて、その上に土を盛って水はけを良くする。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯舘村教育委員会	電話 0 2 4 4 - 4 2 - 1 6 1 1	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)	
	性別・年齢	男 ・ 女		歳
	住所・電話	〒 電話		
	職 業			
団体	団体名 (ふりがな)			
	代表者氏名 (ふりがな)			
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
	問い合わせ先		電話	

【フリーフォーマット】

キーワード



(飯舘村教育委員会)